

トラック受付サービス発表会

車両回転率アップ

川崎陸送■シーネット

【石井麻里】川崎陸送(樋口恵一社長、東京都港区)とシーネット(小野崎伸彦社長、千葉県船橋市)は8日、「Pro Saas Truck受付誘導サービス」の発表会を開催した。物流センターなどでトラックの入場から退場までの時間をデータとして把握・管理、活用する仕組みをアプリケーション・サービス・プロバイダー(A SP)化したシステムで、川崎陸送における車両回転率アップなどの実際の効果を紹介。デモンストレーションも行われた。

同サービスは川崎陸送が開発し、物流センターで利用しており、トラックの待機解消、トラックおよび物流センターの業務生産性向上、運行管理改善、コスト削減、二酸化炭素(CO₂)削減効果がある。

樋口社長は、システム開発の背景として、物流センターでのトラック待機時間の問題を挙げ、配送センターの大型化や物流の集約で「出入庫のピークが集中し、トラックが行列する」実情を報告。「物流センターの処理能力と関係なく、何でも『午前中』着指定となる。欧米と同じように、日本でも物流センターでアポイントシステムの導入が必要では」と持論を述べた。

また、川崎陸送の樋口由人・執行役員営業開発部長は「トラックを待たせない環境整備の進め方」の事例を紹介した。